

初の定期テスト終了！

さて、初めての定期テスト、1学期中間テストが終わりました。準備を十分に整えてテストに臨めたでしょうか。その結果としての出来はどうだったでしょうか。出来がどうだったかはそれぞれでしょうが、その結果をしっかり受け止め、これからに生かせたらと思います。また、このテストで間違えたところ、できなかったところは、学力として定着していないところです。テストを見直し、復習をしっかりやって、これまでの学習内容を定着させましょう。“間違い”はある意味“宝物”です。“できた”ところは、放っておいても“もうできる”はず。“間違い”に向き合い、まったくわからなかったのか、どこがわからなかったのか、わかっていたけどどうっかりしていたのか自分なりに分析し、これからの勉強に生かしていくことが大切です。また、テストの出来が良かった人は、テスト勉強がどれだけできたかよりも、ふだんの授業に真剣に取り組んでいる人が多いはず。中学校の学習の基本は授業です。授業に本気で取り組まないと、いくらテスト勉強をしても学力をきちんと定着させるという意味ではそれほど効果はありません。期末テストは6月。1ヶ月あまりで次の定期テストがあります。終わったばかりでこんな話は早いように思うかもしれませんが、テスト返しがあるこれからがテストと同じくらい大切です。点数がどうだったかというよりも、しっかり復習して自分の課題に気づきましょう。もう、小学校の勉強との違いを理解していかないとはいけません。これから、校歌コンクール、明治村校外学習と行事が続きますが、気持ちがだれてしまわないようにしましょう。これから蒸し暑くなり、体もだらっとしがちです。「今、大事なことは何か」をしっかり考え、そのことを十分に意識して、学校生活を充実させましょう。

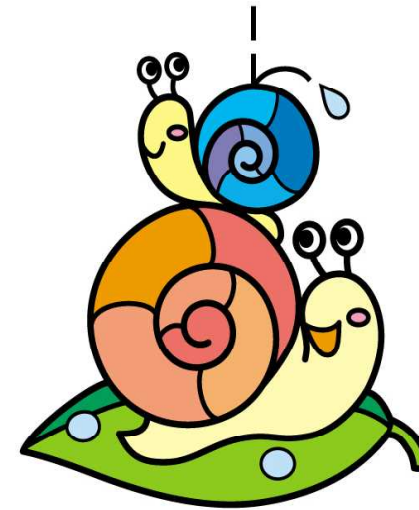


困ったことに…

〈走ったら危ないよ〉入学当初は緊張感もあって落ち着いた学校生活を送っていましたが、5月に入ると気の緩みのせいか、休み時間の過ごし方が少々荒っぽくなってきました。学年集会でも、「人にぶつかる危険」「ガラスを割ったりして危険」などと話してきましたが、そういった意識が薄れてきたのかもしれない。先日はちょっとしたことからつかみ合いのケンカになり、女の子に止めてもらうということもありました。相手のことや周りの状況を考えないのは中学生として恥ずかしいことだとも思います。相手のこと、周囲のことをよく考えたら、自分のしていること悪いことがわかるはず。いつまでも“お子ちゃま”では困ります。勝手な行動を、迷惑に思っている人も少なくないと思います。誰もが安心して過ごせる、安全で落ち着いた生活を送りたいものです。

残念なことですが…

〈水着が危険〉中間テストも終わり、もうすぐ梅雨の時期に入りありますが、6月から体育の授業では水泳が始まります。残念なことですが、長中では数年前、何回か教室から水着がなくなるということがありました。ここ数年はありませんが、なくなったものが水着だけに、なくなった人のショックは計り知れません。こういったことを考えると、今年は絶対に水着がなくなるということがあってはいけません。そのために次のような対策を講じていきたいと思っています。



- 授業で使う水着類は、登校したら教室の自分のロッカーに入れておき、決して多目的室などに置いておかない。
- 体育の授業には保健室横の通路からプールに向かい、指示された更衣室で着替えをする。着替えが終わったら、着衣を更衣室に置いたままプールサイドに移動する。(授業中は更衣室を体育科の教師で施錠します)
- 天候等の理由により、体育の授業で水着を使わなくても必ずその日に持ち帰り、放課後や始業までの時間、教室に水着類が置きっぱなしになっている状態を作らない。(担任が帰りのS Tで

水着の持ち帰りをうながす。また、S T後に担任がロッカーを確認し、施錠をする) こういった被害の対策は、スキを作らないこととそんなことを許さない雰囲気を作ることに尽きます。先生たちも十分に気をつけていきますが、みんなも「自分が被害者になったら…」ということを考え、しっかり意識して生活してください。